

イモベスト施工方法と注意事項

2010年4月1日

施工に当たっての前提条件

①: 下地には透水性が必要です！！

- ・排水性も透水性もないモルタルセメントの上での施工はNGです
- ・基本的には排水性と透水性は必要ですが、透水性はないが傾斜の勾配大きい等の条件次第しいではイモベストの完全な硬化を得ることは出来ませんが目地幅等の状況によっては使用可能です。多少傾斜があるという程度ではNGです。

②: 砂は珪砂を使用すること！！

- ・砂の直径は0.3mm～1.3mmを使用すること。
(今回の色々な試験で得た知見)
- ・砂は珪砂がBESTである・・・珪砂も施工には5号で十分であるが、珪砂の4号の方が望ましい。
- ・保証するものではないが、どうしても排水の悪い場所で使用する場合は粒の大きな珪砂が望ましい。
.....粒の大きな砂の方が間隙が広く排水効化が大きい。
- ・寒水1厘2厘でも使用可能です。(しかし強度面では珪砂がBESTです。)
- ・白竜のような粒が角ばったような形状の砂はNGです。

※KHW社はイモベストの販売を始めて25年前にありとあらゆる砂で実験しました。イモベストが完全に機能する唯一の砂は0.3mm～1.3mmの形状をした珪砂でした。この砂を使用したものが理想的な接着となり完璧でした。これらの砂とイモベストを使用しての目地が最大限に硬いことと透水性の両方を保証するものです。

施工について

- ・1リットルのイモベストと25Kgの珪砂を正確に十分に攪拌すること。
- ・攪拌時の水分は厳禁です。湿っている砂を使うことも厳禁です。
- ・施工の手順(従来通り水を使わない施工でも問題はありません。)



事前に表面をぬらします。
ぬらす理由は石にIMMOBESTの色が付着しないよう水がコーティングの様な役割を果たします。



(イモベスト+珪砂) 充填後。
ソフトに水をまきます。
水をまくことで砂の密度を高め、強度を上げます。



イモベストを攪拌します。
左記写真は攪拌された状態の砂を真空パックにした商品です。



やわらかいほうきで余分な砂をはき出します。



材料を施工場所にまきます。



ソフトな水シャワーで表面をきれいにします。



ほうきで掃き込みます。



完成